

課題名：① 日米医学協力計画を基軸としたアジア地域にまん延している急性呼吸器感染症に関する研究

② 薬剤耐性菌の疫学情報収集体制の構築

公表年月日：令和2年7月31日

公表の方法：Frontiers Cellular and Infection Microbiology

doi: 10.3389/fcimb.2020.00385

公表の題名：Periodic Genotype Shifts in Clinically Prevalent *Mycoplasma pneumoniae* Strains in Japan

公表内容の概要（400字以内）：日本の4地域（神奈川、岡山、大阪、埼玉）で、2006年から2019年の間に分離された *Mycoplasma pneumoniae* 554株について遺伝子型別分析を行った。2011年と2012年の分離株の80%以上は1型系統株が占めていたが、2015、2016年の流行期には2型系統株が増加し、2017年以降は2型系統株が優位になっていた。2010年以降、1型系統株の大半は23S rRNA 遺伝子にマクロライド耐性変異を有していたが、2型系統株はほとんどが変異なしであった。この調査の過程で新しい1型の亜型の p1 遺伝子をもつ株も見つかり 1b型と命名した。また本研究では、*M. pneumoniae* の遺伝子型別法 MLVA、MLST および SNP-8 の解釈について検討するため、日本の分離株81株のゲノムを解読するとともに、データベースに登録されている156株の *M. pneumoniae* ゲノムとの比較を行った。